

こみゆにてい 見聞録

地域のいろいろな話題を紹介します。



子育ては食育から

7月27日(金)、長田幼稚園において「子どもの心も育む食育」というテーマで九州大学大学院農学研究院助教授の佐藤剛史先生が講演を行いました。これは長田小PTA主催、宜野湾小PTA協賛で企画したもので、講演会には保護者や学校関係者など約60人が集まりました。講演会に参加した方は「料理・食事から心を育む意味が少し感じられました」など食の大切さを実感していました。

夏休み体験!キャンドル作り

7月27日(金)・28日(土)、サンフティマで(株)ティ・エム・オ普天間主催、「ちゅうみキャンドル作り体験イベント」が開催されました。琉球ガラスやクリアガラスの中にサンゴ砂や貝殻を敷き、その上にシーサーやクマノミ、ハイビスカスなどのガラス細工と香りを組み合わせて作ります。夏休み期間ということもあり、市内外からたくさんの親子連れが訪れました。



普天間ライオンズクラブの新役員です

7月30日(月)、普天間ライオンズクラブの新役員が訪れ、市長を表敬訪問しました。新会長には江田智泉会長、幹事には與那嶺務幹事、会計には下里隆会計がそれぞれ就任しました。江田会長は「これからも公園清掃や青少年健全育成・市民福祉など社会奉仕活動を続けていきたい」と挨拶しました。



伝統の舞い 野嵩一区の“ちなひちもうい”

8月4日(土)、野嵩ちなひちもうい保存会(桃原隆盛会長)による「野嵩ちなひちもうい大会」が野嵩一区あしびなー公園で開催されました。戦時中に途絶え、平成3年に復活した大会も今回で22回目、女性たちによるちなひちもうい(綱引き舞い)や子ども達によるエイサー、綱引きなどが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



真志喜区大綱引き



宜野湾区大綱引き



受け継がれる伝統 じのーんの大綱引き

5年に1度の宜野湾区大綱引きが、7月29日(日)、沖縄国際大学野球場で盛大に開催されました。2007年に66年ぶりに復活して2度目となる綱引きは、激戦の末、後村渠(くしんだかり)が戦前も含めて初めて勝利を収め、勝ち組の綱で行うムルイデナ(戻り綱)で互いの健闘を称えあいました。また、青年や子ども達による旗頭ガーイーや女性達による踊りなども行われ、市民が一体となって地域の安全と繁栄を願いました。

同日、大山区自治会と昨年、稲わらの不足で中止となった真志喜区自治会でも大綱引きが開催され、青年達によるガーイー、綱と綱が激しくぶつかり合うアギイー、訪れた区民らが参加しての大綱引きが行われ、会場は熱気と歓声で大きな盛り上がりを見せました。



大山区大綱引き